

2013 年度教職基礎学力テスト実施報告（第 13 報）

平野 眞

教職免許希望者の基礎学力の向上を目指すため 2013 年度も教職基礎学力テストを実施し、教職基礎学力テスト結果の合否を「教職論」の単位取得の必要条件とした。

教職課程では、教職論の授業内容についての評価と教職基礎学力テストの評価をそれぞれ独立して算出し、それぞれが合格基準に達しなければ教職論の単位を認定しないシステムにしている。教職論の授業内容についての評価は従来どおり S から E までの 5 段階評価とし、教職基礎学力テストの評価は出題全分野の合計である総合点を算出した後に、一定基準の点数以下を不合格とする合否認定方式とした。両方の結果を合わせて教職論の成績とするが、もし、教職基礎学力テストが合格であり、また教職論の授業内容についての評価が C 以上であれば、教職論の成績は授業内容の成績である段階評価値を以て学生に示された。

1. 試験問題の概要と実施方法

試験問題は国語 15 問（15 点）、数学 5 問（2 点×5 問の 10 点）、英語 10 問（10 点）、一般時事 10 問（10 点）、理科 5 問（5 点）の計 45 問で 50 点満点であった。問題内容については国語を重視する傾向を今年度も維持した。これは教育実習において、授業はもちろんのこと実習報告書の記述その他においても国語の能力の占める比重が大きいと考えているためである。

教職論の最終授業日に教職論の授業内容についての試験を行い、定期試験期間に教職基礎学力テストを実施した。教職論の開講クラスは水曜と土曜の 2 日にそれぞれ 2 時限ずつの計 4 時限あり、教職課程開講学科ごとに割り当てられているため、それぞれが同程度の難易度を持つ問題を 1 セメスターあたり 4 種類作成して使用している。

2013 年度の実施問題では、春セメの総合点の平均と標準偏差は 31.5 点と 6.22 点であり、秋セメの平均点と標準偏差は 32.4 点と 5.90 点であった。過去 5 年間に渡り、年度間およびセメスター間の変動を調べるために年度別要因とセメスター別要因の組み合わせによる 2 要因分散分析を行っているが、結果は年度間にもセメスター間にも統計的有意差は見出されず ($F(1, 4) = 0.038, n.s.$, $F(4, 4) = 3.47, n.s.$)、この点から教職基礎学力テストの問題は一定の水準で安定していると考えている。また、2013 年度も例年と同点数と考えている。

教職論は学部によって開講セメスターが異なるため、春、秋の 2 回の試験実施となる。ただし、学生は所属学課の時間割の都合により必ずしも自学科の開講セメスターに教職論を履修するわけではない。

春セメスターでは、湘南校舎で教職論を開講した学部の学生（主として文学部、政治経済学部、SC 学科を除く理学部、健康科学部）、海洋学部の学生、および前年度までの不合格者と未受験者を含めて 505 名が教職基礎学力テストを受験した。

秋セメスターでは残りの全学科の教職論履修学生および前回の不合格者を合わせて 491 名が受験した。2012 年度の総受験者数は 996 名であり、例年（2009 年度 943 名、2010 年度 1056 名、2011 年度 1078 名、2012 年度 1103 名）に比較して少し減少しているようだが、例えば 2009 年度にも表れたように誤差の範囲と考えている。以下、セメスター別に報告する。

2. 春セメスターの実施結果

2-1. 春セメの全体的傾向

表 1 は、湘南校舎で春セメスターに教職論を履修し、教職基礎学力テストを受験した学生の基礎統計表（受験学生数、平均点、標準偏差、最低点、最高点）である。図 1 には総合点（50 点満点）のヒストグラムを示した。全体的には平均点を中心とした正規分布と考えられるが、平均点から最高点および最低点までのレンジをそれぞれ計算すると、最高点までは 14.5 点、最低点までは 17.5 点であるから、総合点はやや低得点側に偏り、その分低得点者が多いと考えられる。また数学を除く 4 分野では 60% 程度の得点が得られていると見なせる。以下に学部別の結果を示す。

表 1 2013 年春セメ得点統計表

基本統計量	国語(15)	数学(10)	英語(10)	時事(10)	理科(5)	総合点(50)
学生数	505	505	505	505	505	505
平均点	9.7	6.6	6.8	5.8	2.5	31.5
標準偏差	2.25	2.91	2.14	1.67	1.13	6.22
最低点	1	0	1	2	0	14
最高点	15	10	10	10	5	46

学生数

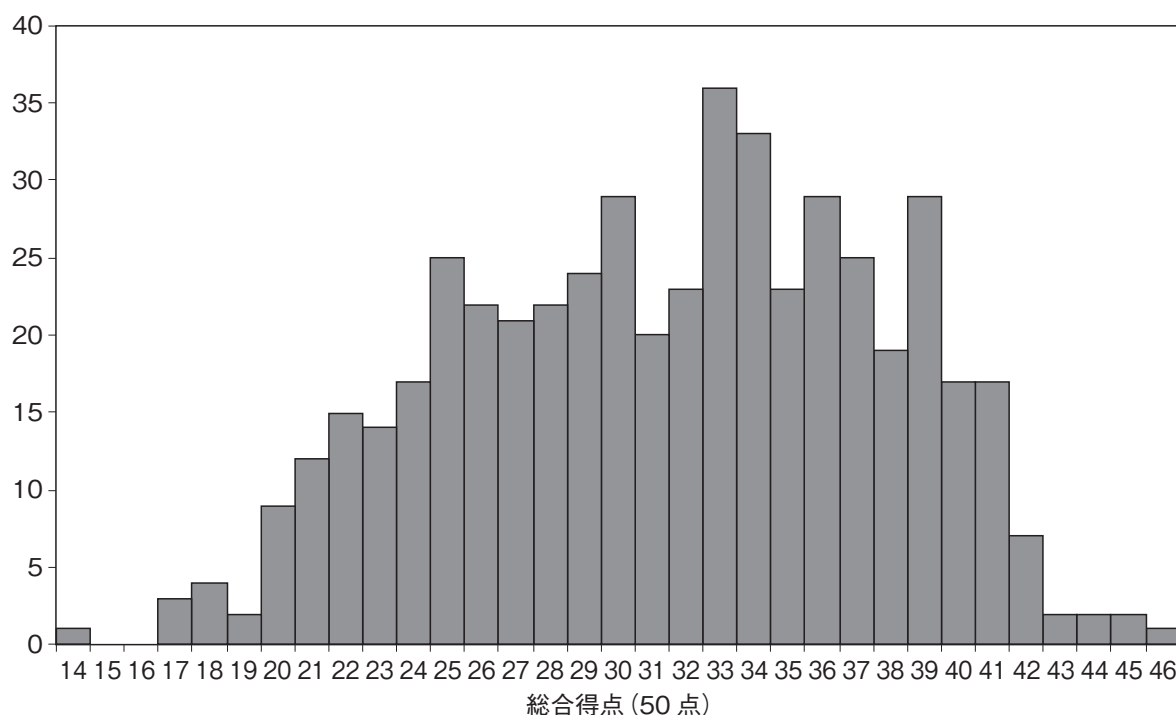


図 1 春セメ総合点ヒストグラム

2-2. 学部別傾向

3B 生の学部別（文学部、政治経済学部、法学部、理学部、海洋学部の計 5 群）の基礎統計表を表 2 に示した。問題と受験者数が学部ごとに多少異なるために単純な比較はできないが、5 学部の比較を示す。文学部は国語の

得点が5学部中で最も高く、数学の得点が最も低かった。政治経済学部は、国語の得点が文学部に続き高かったものの英語、時事問題と理科が5学部中で最も低かった。法学部は文学部、政治経済学部にくらべて数学と時事問

表2 春セメ学部別統計表

文学部(3B生のみ)

基本統計量	国語(15)	数学(10)	英語(10)	時事(10)	理科(5)	総合点(50)
受験学生数	174	174	174	174	174	174
平均点	10.6	5.5	7.0	5.9	2.5	31.4
標準偏差	2.16	2.67	2.21	1.63	1.08	6.13
最低点	4	0	1	3	0	17
最高点	15	10	10	10	5	45

政治経済学部(3B生のみ)

	国語(15点)	数学(10点)	英語(10点)	時事(10点)	理科(5点)	総合点(50点)
学生数	41	41	41	41	41	41
平均点	9.8	5.9	6.1	5.8	2.1	29.6
標準偏差	1.57	2.73	2.10	1.60	1.16	5.38
最低点	6	0	2	2	0	20
最高点	12	10	9	10	4	41

法学部(3B生のみ)

	国語(15点)	数学(10点)	英語(10点)	時事(10点)	理科(5点)	総合点(50点)
学生数	28	28	28	28	28	28
平均点	9.7	6.9	6.5	6.1	2.5	31.7
標準偏差	2.47	2.14	2.17	1.89	1.23	6.32
最低点	5	4	2	3	0	22
最高点	15	10	10	9	5	44

理学部(3B生のみ)

	国語(15点)	数学(10点)	英語(10点)	時事(10点)	理科(5点)	総合点(50点)
学生数	142	142	142	142	142	142
平均点	8.8	9.1	7.4	6.1	2.7	34.2
標準偏差	2.10	1.31	1.63	1.63	1.07	5.12
最低点	4	4	3	2	0	18
最高点	13	10	10	9	5	43

海洋学部(3B生のみ)

	国語(15点)	数学(10点)	英語(10点)	時事(10点)	理科(5点)	総合点(50点)
学生数	33	33	33	33	33	33
平均点	9.9	8.7	7.3	6.6	3.0	35.5
標準偏差	1.97	1.79	2.47	1.84	0.92	5.97
最低点	5	4	1	4	1	21
最高点	13	10	10	10	5	45

題の得点が高かった。理学部は数学と英語の得点が最も高かった。海洋学部は各分野平均して高い得点を得ていて、総合得点が最も高かった。

2-3. 春セメスターの評価基準

2013 年度も総合点の平均が大きく変化していないことから、春セメの評価基準は 26 点以上を合格（25 点以下不合格）とした。不合格の基準値である 25 点は満点の 50%に相当するが、評価基準をその値に定めることは、現在までの不合格基準点とほぼ同じであり現在までの受験学生にとっても不公平感がなく妥当と考えられる。合格者と不合格者の数を昨年度の値とともに表 3 に示した。13 年度春セメの合格者は 403 名（79.8%）で不合格者は 102 名（20.2%）であり、12 年度の春セメより若干合格者が増加しているようである。表 4 に、合格者、不合格者別の得点統計表を示した。合格者と不合格者の得点率を出題分野別に比較し、どの分野で得点率の差が大きいかを調べた。国語での得点率の差は 14.6%，数学で 36.0%，英語で 29.0%，時事で 17.0%，理科で 18.0%であり、数学と英語での失点率が高いことがわかった。

表 3 合格者と不合格者数

	2013 春セメ	12 年春セメ
合格	403 名(79.8%)	74.0%
不合格	102 名(20.2%)	26.0%

表 4 春セメ合否別得点表

合格者

	国語(15 点)	数学(10 点)	英語(10 点)	時事(10 点)	理科(5 点)	総合点(50 点)
学生数	403	403	403	403	403	403
平均点	10.2	7.3	7.4	6.2	2.7	33.7
標準偏差	2.07	2.57	1.80	1.56	1.10	4.63
最低点	4	0	2	3	0	26
最高点	15	10	10	10	5	46

不合格者

	国語(15 点)	数学(10 点)	英語(10 点)	時事(10 点)	理科(5 点)	総合点(50 点)
学生数	102	102	102	102	102	102
平均点	8.0	3.7	4.5	4.5	1.8	22.5
標準偏差	2.11	2.30	1.79	1.38	0.99	2.34
最低点	1	0	1	2	0	14
最高点	12	10	9	8	4	25

3. 秋セメスターの実施結果

3-1. 全体的傾向

秋セメスターに教職論を履修し教職基礎学力テストを受験した主な学部は、教養学部、体育学部、理学部 1 学科（SC 学科のみ）、工学部であり、これに再履修および未受験の学生を加え計 491 名が総受験者数となった。表 5 に、出題分野別および総合得点についての基礎統計表を、また図 2 に総合得点のヒストグラムを示した。最初に述べたように総合得点の 32.4 点は春セメ（31.5 点）に比べ統計的に有意で 1 点ほど高いが（ $t = 2.54$, $df =$

994, $p < .05$) 大きな差ではなく、春秋ともに同程度の水準だと考えている。図2に示されるように、平均点から最高点および最低点までのレンジをそれぞれ計算すると、最高点までは15.6点、最低点までは13.4点であり、全体としては正規分布しているものの高得点側に伸びている。分野別ではどの分野も大よそ60%程度の得点が得られている。

表5 2013年秋セメ得点統計表

基本統計量	国語(15)	数学(10)	英語(10)	時事(10)	理科(5)	総合点(50)
受験学生数	491	491	491	491	491	491
平均点	9.9	6.7	6.5	6.7	2.8	32.4
標準偏差	1.92	2.65	2.02	1.85	1.21	5.90
最低点	2	0	1	1	0	19
最高点	14	10	10	10	5	48

学生数

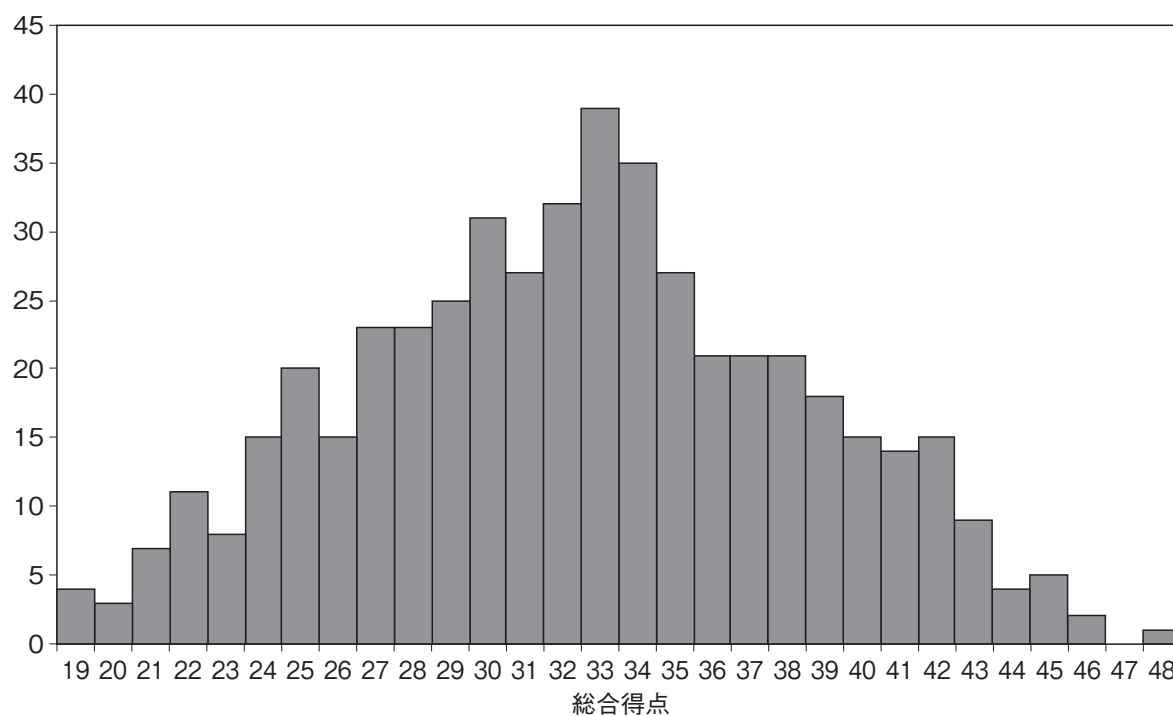


図2 秋セメ総合点ヒストグラム

3-2. 学部別傾向

春セメと同じく、以下に4学部の基礎統計を表6に示す。

教養学部は、英語の得点が体育学部と並び高かったものの数学が低く、総合得点では4学部中最も低かった。体育学部は国語の得点が最も高く英語が教養学部と並んで高かったものの時事問題と理科の得点が4学部中最も低くかった。理学部(SC)は数学の得点が最も高かったものの英語の得点が最も低くかった。しかし総合点では4学部中最も高得点であった。工学部は時事問題と理科の得点が4学部中で最も高かった。

3-3. 秋セメスターの評価基準

秋セメも総合点26点以上を合格(25点以下不合格)の絶対評価とした。今回の試験では表7に示したように

表 6 秋セメ学部別統計表

教養学部(3B 生のみ)

	国語(15 点)	数学(10 点)	英語(10 点)	時事(10 点)	理科(5 点)	総合点(50 点)
学生数	33	33	33	33	33	33
平均点	9.2	5.5	6.6	7.3	2.8	31.4
標準偏差	1.87	2.65	1.68	1.89	1.06	5.55
最低点	6	0	2	3	1	19
最高点	13	10	10	10	5	42

体育学部(3B 生のみ)

	国語(15 点)	数学(10 点)	英語(10 点)	時事(10 点)	理科(5 点)	総合点(50 点)
学生数	286	286	286	286	286	286
平均点	10.1	6.6	6.6	6.4	2.7	32.4
標準偏差	1.88	2.65	1.96	1.75	1.22	6.01
最低点	2	0	1	2	0	19
最高点	14	10	10	10	5	48

理学部(SC 3B 生のみ)

	国語(15 点)	数学(10 点)	英語(10 点)	時事(10 点)	理科(5 点)	総合点(50 点)
学生数	34	34	34	34	34	34
平均点	9.5	8.4	6.4	7.6	3.3	35.2
標準偏差	2.19	1.96	2.98	2.00	1.17	6.27
最低点	5	4	1	1	0	22
最高点	13	10	10	10	5	46

工学部(3B 生のみ)

	国語(15 点)	数学(10 点)	英語(10 点)	時事(10 点)	理科(5 点)	総合点(50 点)
学生数	29	29	29	29	29	29
平均点	9.2	7.8	6.5	8.0	3.4	34.8
標準偏差	2.25	1.63	1.98	1.92	0.98	5.56
最低点	4	4	3	3	2	23
最高点	12	10	10	10	5	44

表 7 合格者と不合格者数

合格	424 名(86.4%)
不合格	122 名(13.6%)

合格者は 424 名（86.4％）で不合格者が 67 名（13.6％）であった。

表 8 に、合格者と不合格者の分野別得点を示した。そして得点率を出題分野別に比較し、どの分野で得点率の差が大きいかを調べた。その結果、国語での得点率の差は 14.6％、数学で 31.0％、英語で 25.0％、時事で 23.0％、理科で 16.0％であり、春セメスターと同様に数学、英語での失点率が高く、時事問題がそれに続いて高いことがわかった。

表 8 秋セ×合否別得点表

合格者

	国語(15点)	数学(10点)	英語(10点)	時事(10点)	理科(5点)	総合点(50点)
学生数	424	424	424	424	424	424
平均点	10.2	7.1	6.8	7.0	2.9	33.9
標準偏差	1.73	2.44	1.85	1.72	1.20	4.87
最低点	5	0	1	2	0	24
最高点	14	10	10	10	5	48

不合格者

	国語(15点)	数学(10点)	英語(10点)	時事(10点)	理科(5点)	総合点(50点)
学生数	67	67	67	67	67	67
平均点	8.0	4.0	4.3	4.7	2.1	23.1
標準偏差	1.99	2.44	1.65	1.40	1.01	1.84
最低点	2	0	1	1	0	19
最高点	13	10	9	8	4	25